

祝メダル



第56回技能五輪全国大会 総括 境 武雅選手「敢闘賞」入賞！！

今回の全国大会で自身の3年間の集大成として敢闘賞を受賞することができました。大会前の2カ月は間近に迫った焦りや機械加工のミス、不安定な課題の点数に一度は心が折れそうになりましたが、指導員と周りの人の支えで大会直前には自分でも驚くような点数の上がり方をして、メダルを十分に狙える位置までになり、本番を迎えることになりました。機械加工競技では平常心でミスなく余裕をもってできましたが、一方、仕上げ競技はギリギリのペースとなり、最後に大きく踏み、自分として満足のいかない出来栄となってしまいました。結果として、何とか敢闘賞に食い込むことはできましたが、自分の実力を発揮できないまま大会を終えました。何とか入賞することができた喜びと、色付きのメダルを獲れなかった悔しさが入り混じった3年目の最後の大会となりました。振り返ってみると、何も知らない中で始めた技能五輪挑戦でしたが、この3年間、指導員の熱心なご指導による日々の練習の積み重ねでメダルを獲得できたことは、自分にとって一つの誇れるものとなり、これからの仕事をしていくうえで大きな自信になると考えています。

指導員をはじめ、今大会まで応援してくださった皆様や競技に向け十分な練習環境を用意していただいた皆様に深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



境 選手

技能五輪活動への皆様のご支援ご声援に感謝申し上げます。

今回の全国大会、出場選手4名(3年目2名、2年目1名、1年目1名)は、指定時間内に課題を完成させ、見事3年目の境選手が『敢闘賞』を獲得することができました！！他の選手は残念ながら入賞できませんでしたが、来年に繋がる手応えを感じ取りました。来年の『第57回技能五輪全国大会in愛知大会』に向けまた訓練に精進致します。指導員：高橋

(1)日程 「抜き型」職種

機械競技 →10/30、10/31

仕上げ競技→11/3

開会式→11月2日(金)

閉会式→11月5日(月)

(2)競技 42職種

◇競技参加者 約1,400名

(3)主催 沖縄県、厚生労働省、 中央職業能力開発協会

(4)会場 (那覇市・沖縄市・うるま市近辺)

◇「抜き型」職種

会場名：うるま地区内賃貸工場

「抜き型」職種結果

企業名(参加人数)入賞

『富士電機エフテック(株)(4)敢』、

トヨタ自動車(株)(4)銀・銅、トヨタ車体(株)(2)、

トヨタ紡織(株)(2)敢、アイシンAW(株)(2)、(株)ジェイテクト(2)、

本田技研工業(株)(1)、ホンダエンジニアリング(株)(3)敢、

日立アプライアンス(株)(2)銅・敢、(株)デンソー(3)銀・敢、

日立オートモティブシステムズ(株)(6)銀・銅・敢、アイシンAW工業(株)(1)

(株)ミツバ(2)、セイコーエプソン(株)(2)敢、(株)SUBARU(2)、

豊田合成(株)(1)、日立ジョンソンコントロールズ空調(株)(1)金

出場選手37名

入賞者14名

伊藤選手

昨年の大会で銅メダルを獲ったこともあり、自分でも金メダルを獲るつもりで頑張ったのですが、3年目の最後の大会で、しかも、競技の最後の最後で大きなミスをしてしまい、結果を残すことができませんでした。大きな期待もされていたので、非常に悔いの残る大会になってしまいました。これまでのご支援とご声援に感謝いたします。今後はこの3年間で身につけた技術力や経験を仕事で活かせるように頑張っていきます。ありがとうございました。

森選手

今回の結果は決して良いとはいえ、ものではありませんでしたが、そのような中でも、前大会よりも少しは緊張せず加工できたこと、機械でのミスのリカバリーを素早く、落ち着いてできたことがよかった点でした。今大会では自分の何がなかったのか、直すべき課題を見つけられることができたので、早いうちに修正し次回の大会では必ず先輩たちに続いてしっかりメダルを持って帰れるようにします。最後に自分をサポート、応援いただいた方に感謝します。

山内選手

今回初めての全国大会の参加であり、大会の雰囲気を知ることができました。機械加工はいつもと違い焦りましたが、結果はミスなくできました。仕上げは目標であった時間内で終了しましたが、寸法が納めできるものではありませんでした。今大会でヤスリの基本の大切さを再認識しました。特に削り方や足の動かし方は、今回金賞受賞者の選手を見習い練習に励み、次回の大会で入賞を目指します。応援よろしくお願いします。



関係者応援



競技風景



完成後挨拶

五輪指導員コメント

日頃より技能五輪へのご支援ご声援ありがとうございます。先日行われました第56回技能五輪全国大会は、前回大会に比べ更に課題自体も難しくなっており、各企業がすごく力を入れてとても厳しい大会となりました。その中、3年目選手の境選手が普段の実力を出し、見事『敢闘賞』を獲得することが出来ました。境選手と伊藤選手は今回の大会で最後ですので、五輪卒業となります。技能五輪で学んだことを活かし、益々の活躍を期待しております。森選手と山内選手は、来年の第57回技能五輪全国大会に大きく繋がる経験となりました。選手たちは多くの応援でより成長し、よりレベルアップしていきますので、今後ともご指導ご声援よろしくお願いいたします。